

孤立死防止対策

かわ た
川田ただひさ 自民党



問集合住宅に住む高齢者の見守り・安否確認のモデル事業の成果を踏まえ、配食サービスなどを行う民間事業者と連携して、新たに開始する見守り事業の内容は、どのようなものですか。

答民間事業者が宅配などで高齢者宅を訪問する際、異変に気付いた時は、地域包括支援センターなどに連絡してもらおうなど、新たなアンテナを増やす取り組みです。

市議会の動き

2月10日に招集された第1回定例会の中から、2月15日、16日、17日の代表質問の主な内容、最終日までに議決された議案などについてお知らせします。なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

女性の健康

あおやま なみ こ
青山 浪子 公明党



問約1割が発症するという産後うつ早期発見や相談支援体制を、今後どのように整備していくのか伺います。

答妊娠届出書に「こころの健康状態」の問診項目を導入し、母子健康手帳交付時には面接をして、リスクの高い妊婦への家庭訪問を行います。また、乳児家庭全戸訪問事業では、産後うつ質問票によりリスクの高い方を把握し、適切な医療につなげるなどの支援を行います。

問国は、年度内2回・通算5年間という特定不妊治療の助成内容を拡充するとしていますが、本市は独自に助成回数の上乗せ、所得制限の緩和をすべきではないですか。

答平成23年度から国の制度改正に合わせ、1年目の申請者に限り年度内3回まで助成します。助成回数や所得制限については、国の動向を注視したいと考えています。

震度情報の公表

こんどう かず お
近藤 和雄 自民党



問地震発生時には、市内わずか4カ所に設置された気象庁の震度計の震度が公表されています。一方、本市は地震直後に被害予測を行うため、独自に各区へ震度計を設置しています。直下型地震の場合、地域で揺れの大きさが違うことも想定されるので、市民の不安解消と防災機関の初動体制確立のため、本市の地震計の情報を公表することが必要と考えますが、いかがですか。

答本市が設置している12カ所の震度計の観測結果を、オンラインで気象庁へ提供し、公表してもらうよう準備を進めています。運用開始までは、観測結果を電話などで気象庁へ伝達するほか、本市ホームページに掲載し、情報提供することとしています。

円山動物園

いのくま てる お
猪熊 輝夫 民主党・市民連合



問円山動物園が2011年に開園60周年を迎えるに当たり、どのような認識をお持ちですか。開園を記念する事業などをどのように検討しているのか伺います。

答円山動物園は、現在、約170種類の動物を誇る国内有数の施設となり、延べ4,600万人に楽しまれてきました。平成23年度は、「人と動物と環境の絆をつくる動物園」に向けた取り組みを強化する年と認識しています。記念事業については、スノーフェスティバルを拡大して既に実施したほか、「は虫類・両生類館」オープンの記念講演会、希少動物に関するシンポジウムなど、さまざまな取り組みを考えています。

問営業が終了した遊園地の跡地にアジア館を建設するため、予算を計上したことは評価しています。しかし、市内の屋外遊園地が消えつつある中、小さな子どもが楽しめる環境の整備を考慮する必要があります。アジア館建設に関して、小さな子どもへの配慮をどう考えているのですか。

答動物園の機能を総合的に高めるため、子どもが楽しめる場の整備について、今後、子どもの意見も取り入れながら、検討していきたいと考えています。

第1回定例会

【可決された議案】

平成23年度予算が修正可決されました。平成23年度予算の詳細は2～6ページをご覧ください。

このほか、下記の議案など合計44件が可決されました。

平成22年度一般会計等補正予算
主に次の内容で総額211億6,698万円を補正するものです。

- ①地元中小企業の受注機会を拡大するための市有施設整備
- ②DV・自殺予防対策の体制強化
- ③受給者の増加により、不足が生じる見込みとなった生活保護費などの扶助費
- ④道路除雪費

委員会の主な活動状況

〔2/11～3/10〕

総務委員会

「札幌市の市長と副市長の退職金を廃止することを求める陳情」「人事管理業務の運営見直しに関する陳情」「個人情報保護条例の改正もしくは解釈の見直しに関する陳情」および「行政情報課業務の運営見直しに関する陳情」の初審査を行い、不採択とすべきものと決定しました。(3/2)

財政市民委員会

路面電車の活用に係る市民議論の結果について、市民まちづくり局から説明を受け、質疑を行いました。また、「札幌市内市電延伸計画の中止を求める陳情」の審査を行い、継続審査としました。(2/21)

文教委員会

「『まなびの教室』の各区増設・早期実現を求める陳情」の初審査を行い、継続審査としました。(2/21)

厚生委員会

「国民健康保険料の大幅引き下げを求める請願」の初審査を行い、継続審査としました。(2/21)

建設委員会

札幌市住宅マスタープラン(案)について、都市局から説明を受け、質疑を行いました。(2/21)

第一部・第二部予算特別委員会

副委員長の互選、理事制の設置、審査日程、発言方法について決定しました。(2/17)

平成23年度予算案などを審査しました。(2/23、2/25、3/2、3/4、3/7)

議案審査のための常任委員会

関係する各常任委員会において、それぞれ審査を行いました。(2/21、2/22)

若年層の就労支援

さとう のりこ
佐藤 典子

市民ネット



問 厳しい労働環境に置かれた若年層に対し、これまで行ってきた就労支援事業の実績を踏まえ、さらに支援の拡充を図るべきと考えますが、いかがですか。

答 ジョブスタートプログラム事業では対象者を拡大し、若年層職場定着支援事業では宿泊研修を実施するほか、若年層就業促進事業では試験的な就労を組み込んだコースを新設します。

問 未就労の新卒者に対する給付金の継続や範囲の拡大など、さらなる支援策を講じるべきですが、いかがですか。

答 求職者に必要な能力の開発や、企業の採用意欲を喚起する事業など、効果が高く、雇用創出が見込める施策を積極的に検討していきたいと考えています。



議会事務局からのお知らせ

● 会議録の検索

本会議および委員会の会議録は、市役所15階議会図書室と2階市政刊行物コーナーで閲覧できます。このうち、本会議の会議録については、市内の図書館などでもご覧いただけます。

また、会議録はホームページの会議録検索システムでも公開しています。発言者、会議の種類、キーワードにより、ご覧になりたい会議録を簡単に検索できますので、大変便利です。ぜひ、お気軽にご利用ください。

HP kaigi.city.sapporo.jp/voices

ていねプールの存続

いのうえ こ
井上ひさ子

共産党



問 平成22年6月の市民評価(事業仕分け)で、ていねプールは廃止と判定されましたが、存続を求める市民の声をどう受け止めているのか伺います。

答 市民評価に対する意見や、子どもや親からの声のほか、子ども議会の小中学生から直接意見を聞きました。このプールは多くの市民に愛され、親しまれてきた施設とあらためて認識しました。

問 ていねプール利用者の多くは子どもです。子どもの権利条例に基づく「子どもの意見表明権」をどう保障し、意見を聞くつもりなのか伺います。

答 存続・廃止の両面から、議会での議論や子どもを含めた利用者の意見も伺いながら、検討していきたいと考えています。

■編集 札幌市議会事務局

☎211-3164 FAX218-5143

■市議会ホームページアドレス

www.city.sapporo.jp/gikai

サピカの電子マネー開発

まつうら ただし
松浦 忠

改革維新の会



問 地下鉄のIC乗車券サピカに電子マネー機能を持たせるためのシステム開発について、本市は北洋銀行と合意しました。北洋銀行に独占的利益をもたらす合意が結ばれたことに疑念を感じます。全金融機関へシステムを開放しているJR東日本のカードのように、本市も、市民が使いやすいよう、全ての金融機関に公開すべきではありませんか。

答 北洋銀行との合意は、未来永劫、サピカの商業利用を独占的に行うことを約束したものではありません。システムの開発に投資した北洋銀行が、約1年間商業利用した後は、申し出があれば、全ての利用団体に対して開放していくことが約束されています。